

若狭町過疎地域持続的発展計画（案）に関するパブリック・コメントの実施結果について

■意見募集期間 令和7年12月25日（木）から 令和8年1月15日（木曜日）

■意見の数 3名 : 4件

■意見と意見に対する町の考え方

No.	ご意見の概要	町の考え方
1	<p>12. 再生可能エネルギーの利用の推進 (49p)</p> <p>町内では風力発電建設に対し反対意見があるが、これから再生可能エネルギーの重要性を考えず、建設的な議論が十分になされない。</p> <p>風力発電の立地条件に恵まれていることも自然の恩恵であり、建設工事での経済波及効果や雇用創出、観光資源化の可能性もあり、歳入の増加による町の課題解決への寄与にも期待する。</p>	<p>本計画49pの「（2）その対策」において「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーについて、住民や民間事業者の理解を得ながら地域への導入を検討する。」としております。</p>
2	<p>3. 産業の振興 (22p)</p> <p>海草類の減少による磯焼けは、町内に限らず県内外で深刻な課題となっており、魚介類の生育や漁業に影響を及ぼしている。世久見地区においても、これまで「海もぐら」による藻場再生活動が行われている。</p> <p>日本製鉄が鉄鋼スラグを活用した藻場造成事業「海の森づくり」を全国44か所で実証的に実施しており、世久見漁業協同組合、海もぐら、日本製鉄の協力により、世久見沖への投入も予定されている。日本海側では初の取り組みである。</p> <p>町が主体となってブルーカーボンに積極的に取り組む自治体としてPRし、県内外に社会貢献企業を募る取り組みを行ってはどうか。</p>	<p>本計画24pの（2）その対策において「漁業経営の安定のため、水産施設整備並びに漁業団体活動への支援を行う」こととしています。</p> <p>ご提案の内容については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
3	<p>12. 再生可能エネルギーの利用の推進 (49p)</p> <p>再生可能エネルギーについて地球温暖化防止の観点からSDGsを推進している町として積極的に議論する必要があるのではないか。現在計画のある風力発電についても、地域経済、町財政にもメリットがあり、得た税収を子育てや介護に活用することで住みやすい町にすることもできる。</p> <p>環境問題について、風車管理道路ができることで人が山に入り守れる自然もある。植樹など環境保全活動や景観に配慮した風車の色にする方法もある。</p> <p>色々な思いがあると思うが町主体による勉強会、ディスカッション等の開催により、より良い選択をお願いしたい。</p>	<p>本計画49pの「（2）その対策」において「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーについて、住民や民間事業者の理解を得ながら地域への導入を検討する。」としております。</p>
4	<p>特段、数値目標がある訳で無く、未達成でもだれも責任を取らない無責任さが感じられる。</p>	<p>本計画の内容は、様々な方針・事業に対応できるよう、できる限り概括的かつ包括的に記載することを基本として策定しています。</p> <p>また、国が示す作成例により作成していることから個別の数値目標の設定は行っておりませんが、事業の推進による成果は、上位計画にあたる「若狭町総合計画」で設定する評価指標により毎年度確認してまいります。</p>